

(13)

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開実用新案公報(U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平6-60915

(43)公開日 平成6年(1994)8月23日

(51)Int.Cl.¹F 2 1 V 7/09
7/04

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

A 6908-3K

A 6908-3K

審査請求 有 請求項の数 2 O L (全 3 頁)

(21)出願番号

実願平5-2742

(22)出願日

平成5年(1993)2月4日

(71)出願人 000004352

日本放送協会

東京都渋谷区神南2丁目2番1号

(71)出願人 390032573

丸茂電機株式会社

東京都千代田区神田須田町1丁目24番地

(71)出願人 593024221

国際照明株式会社

東京都渋谷区神山町4-14 第三共同ビル
6階

(74)代理人 弁理士 早川 政名

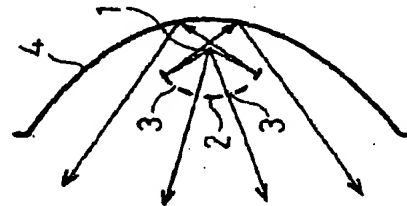
最終頁に続く

(54)【考案の名称】 フラッド型照明器具

(57)【要約】

【目的】 照明器具が小型で、しかも柔らかい明りを出しながら、光の利用効率が高いスタジオライティングに適したフラッド型照明器具を提供すること。

【構成】 灯体5の内部に配置した棒状光源(電球)6の前後に反射鏡を配置し、その前方反射鏡8には多数の小孔を開設し、後方反射鏡10は放物面反射鏡で反射面を拡散面に構成する。



(2)

実開平 6 - 60915

【実用新案登録請求の範囲】

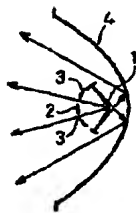
【請求項1】 灯体の内部に配置した棒状光源の前後に反射鏡を配置し、その前方反射鏡には多数の小孔を開設し、後方反射鏡は放物面反射鏡で反射面を拡散面としたことを特徴とするフラッド型照明器具。

【請求項2】 上記の前方反射鏡における通孔の開口面積を、直射光の10乃至50%が透過し得る範囲内とした請求項1に記載のフラッド型照明器具。

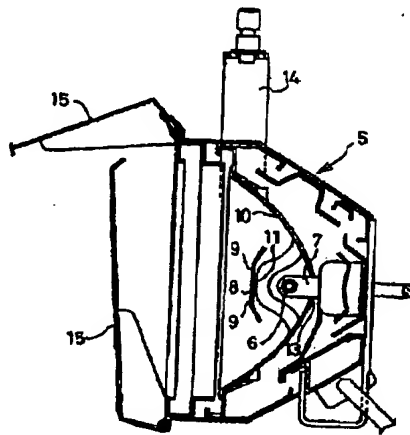
【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案の照明器具の光学原理図である。

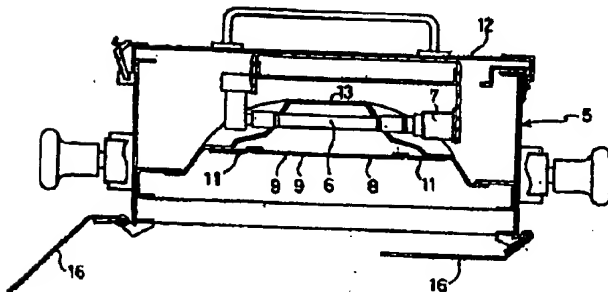
【図1】



【図2】



【図3】



【図2】 本考案の照明器具の一実施例を示す縦断側面図である。

【図3】 図2に示す照明器具の一部切欠横断面図である。

【図4】 図2に示す照明器具の一部切欠正面図である。

【図5】 本考案の照明器具の配光特性線図である。

【符号の説明】

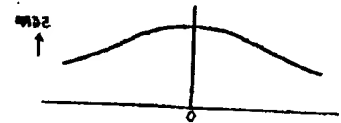
1, 6...光源 (電球)

2, 8...前方反射鏡

3, 9...小孔

4, 10...後方反射鏡

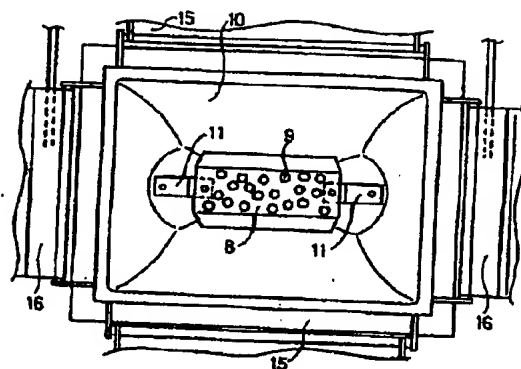
【図5】



(3)

実開平 6- 60915

【図4】



フロントページの続き

(72) 考案者 赤井沢 孝
東京都渋谷区神南二丁目2番1号 日本放
送協会 放送センター内
(72) 考案者 田中 君明
東京都渋谷区神南二丁目2番1号 日本放
送協会 放送センター内

(72) 考案者 北 博
東京都大田区西糀谷3-37-7 丸茂電機
株式会社技術センター内
(72) 考案者 田村 武己
東京都大田区西糀谷3-37-7 丸茂電機
株式会社技術センター内
(72) 考案者 植村 康雄
東京都渋谷区神山町4-14 第三共同ビル
6階 国際照明株式会社内